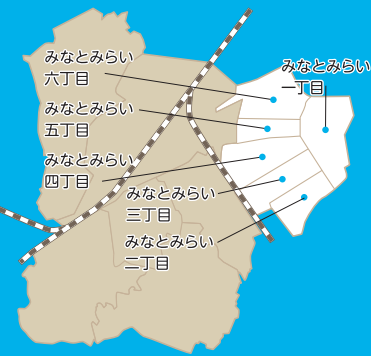


みなとみらい地区



にこまちプラン(西区地域福祉保健計画)は、住み慣れたまちで誰もがにこやかに、しあわせに、いきいきと暮らし続けられるよう、人々がつながり、ともに支えあうまちをつくるための計画です。

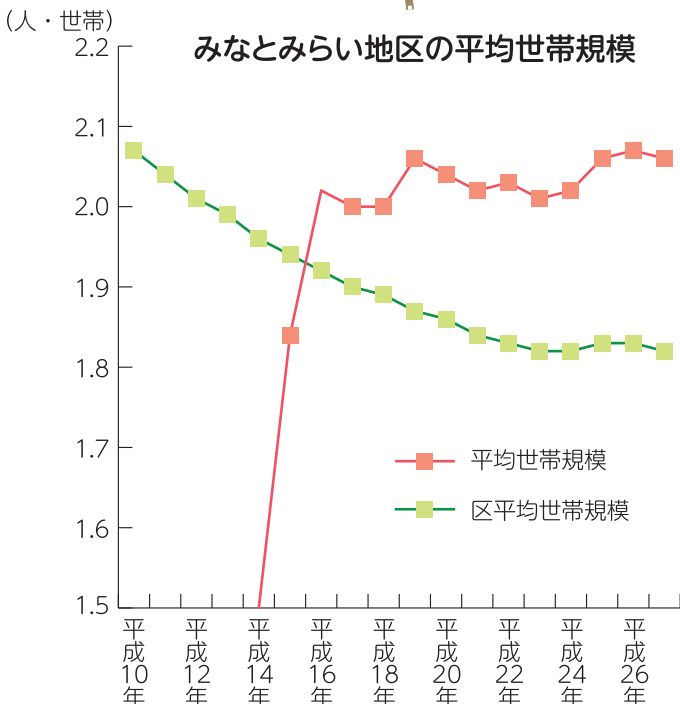
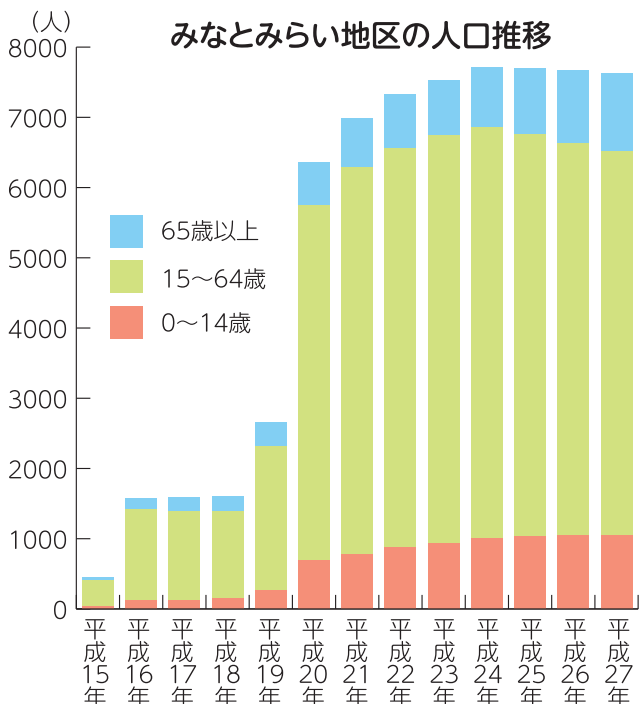
このリーフレットでは、にこまちプランに関連するような、みなとみらい地区の特徴や、地域で行われている活動等についてご紹介します。

地区の特徴

みなとみらい地区は、計画的なまちづくりが進められており、高水準のインフラと環境対応、景観を備えた日本を代表するまちとして発展を続けています。商業・観光施設やオフィスなど、就業者を含めた来街者が多数訪れるとともに、ここ10年ほどは都市型高層住宅が次々と建設され、居住者も急増しています。今後も新たな開発が予定されるなど、まだまだ活発に動いていく地区です。

地区のデータ

- 人口 7,619人 (H27.3)
- 来街者 約7,600万人 (H26)
- 世帯数 3,701世帯 (H27.3)
- 就業者 約98,000人 (H26)
- ※H27.3「町別世帯と人口」
- 事業所 約1,730社 (H26)
- ※都市整備局資料(H27.3.16)





公園愛護会(高島中央公園ほか)

みなとみらい地区のオアシスとなっている高島中央公園は、近隣のマンション住民の皆さんで組織する公園愛護会で日常的な管理をしています。



ハマロード・サポーター (MMタワーズハマロード・サポーター、フォレシス・グリーン倶楽部、高島中央公園愛護会ほか)

住民の皆さんが主体となって、身近な道路の清掃や美化活動等を行っています。

M.M.TOWERS自治会での活動

バーベキューや餅つき大会、防災訓練、バス旅行、講演会、サロンなど会員間の交流を図り、顔の見える関係づくりに努めています。また、防犯パトロールを行ったり、さくらフェスタ、盆踊り大会、秋祭り等に参加し、地域活動を行っています。

みなとみらいミッドスクエア ザ・タワーレジデンス自治会での活動

コミュニティづくりの中でも、特にマンション内の植物については、自治会と住民の植栽サポーターが手入れ、管理を行い、新たな活動もできています。

MM体操クラブ(保健活動推進員)

保健活動推進員で、講師の先生をお呼びして体操を行っています。その他健康チェックも時々行っています。



毎月第2・4金曜日10:00-12:00 MMタワーズ集会室

民生委員・児童委員

民生委員・児童委員は、「まちの身近な相談相手」です。例えば、高齢者等への訪問・見守り活動や子育て支援、また、地域の方が抱える福祉に関する様々な困りごとをお伺いし、区役所や地域ケアプラザなどにつなげるなどの活動をしています。
(民生委員・児童委員には守秘義務がありますので、安心してご相談下さい。)

みなとみらい 秋まつり



イベントを通し、地域内の交流を促進し、見守り活動を根付かせ、また地域内の企業との連携を強め、より多くの見守りの機会を増やすことを目的として開催しています。

(主催:みなとみらい秋まつり実行委員会)



▲保健活動推進員による健康チェック



▲ステージでのころばんよ体操実演

▲マンション対抗の綱引き大会